

指導教員名	山口 志郎、青山 将己
-------	-------------

活動区分	イベント企画型	連携先	企業
	イベント支援・運営型		

～ レッドハリケーンズ大阪における集客増に向けた企画実践 ～

活動の様子



企画・活動概要

本プロジェクトでは、ラグビーリーグワンDIVISION2に所属するレッドハリケーンズ大阪と協働しながら、レッドハリケーンズ大阪のホームゲームにおける集客増に向けた企画提案を行う社会共創活動であった。10月1日にレッドハリケーンズ大阪プロモーション兼広報のオロ将太様よりゲスト講義頂き、11月5日に先方へプレゼンテーションを行った後、12月22日にヨドコウ桜スタジアムにて学生自ら考えた企画を現場で実践した。

経緯・背景・目的

本プロジェクトの目的は、レッドハリケーンズ大阪を題材に、プロスポーツの企画運営を学び、実際にレッドハリケーンズ大阪に対する提案を行うことであった。学生はプロスポーツチームのゲームに観戦者として訪れることはあるものの、運営スタッフとして携わる経験は決して多くないことから、これまでの企画提案型から企画実践型のアクティブラーニングは学生にとって有益なプログラムとなった。



取り組む課題

流通科学大学では、2022年12月16日にレッドハリケーンズ大阪と、教育・スポーツ振興に関する連携協定を締結した。本協定は、教育・研究・医療・文化およびスポーツの振興、人材育成、社会貢献などの分野において相互に協力し、双方の発展と充実に寄与することを目的としている。本社会共創活動ではレッドハリケーンズ大阪における集客増に向けた企画実践を行い、学生自ら企画を考え、提案し、実践しながら、学生の視点からプロスポーツの現場の課題を抽出することになった。

本学(学生)の役割

受講者の学生を4グループに分け、グループごとに12月22日に実践する企画の検討を行った。2グループはオリジナル企画を提案し、2グループはこれまでホームゲームで実践されていたラグビーアクティビティのアレンジを行った。11月5日にオロ様への提案後は、企画のブラッシュアップを行い、12月22日に自分たちの企画を会場で実践した。指導教員2名は、レッドハリケーンズ大阪との調整ならびに当日のイベント時に、事故や怪我がないか、細心の注意を払いながら、参与観察を行った。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

レッドハリケーンズ大阪とコラボし現場で実践した本企画は、連携協定を結ぶレッドハリケーンズ大阪との関係性を強硬にしたという点で一定の成果を挙げることができた。また、イベント当日は、流通科学大学のブルーのジャケットを着て学生は活動を行ったことから、レッドハリケーンズ大阪のスタッフや観戦者に対する流通科学大学の認知度向上に寄与した。また、学生にとっては、現場実習やレッドハリケーンズ大阪に対する提案と実践を行ったことから、大変貴重な経験を与えることができたと共に、主体性やプレゼン力、行動力等、様々な能力が本社会連携を通じて身についたと思われる。



指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

人間社会学部 人間健康学科
教授 山口 志郎(ヤマグチ シロウ)

人間社会学部 人間健康学科
専任講師 青山 将己(アオヤマ マサキ)

<関係者・企業等>

レッドハリケーンズ大阪
マーケティングリーダー 兼 広報
オロ 将太(サイグチ ショウタ)